

1. 令和元年度中間報告

(令和元年 11 月末現在)

地域支援事業の実施

〔1〕 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

介護予防・生活支援サービス事業

(資料：令和元年度地域支援事業一覧)

(単位：件)

事業名	事業内容		4	5	6	7	8	9	10	11	合計
訪問型サービス	掃除・洗濯等の日常生活上の支援	独自	87	77	89	88	88	85	90	87	691
		サービス A	263	269	232	258	235	245	265	232	1999
		サービス C	0	0	0	0	0	0	1	1	2
通所型サービス	機能訓練や集いの場など日常生活上の支援	独自	177	165	182	185	194	176	182	180	1441
		サービス A	185	187	192	191	191	191	190	187	1514
		サービス B	258	263	269	272	255	247	266	301	2131
その他の生活支援サービス	栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守り	お元気見守り食事サービス(配食)	175	167	171	196	169	187	210	202	1477
介護予防ケアマネジメント	総合事業によるサービスを適切に提供するためのケアマネジメント(国保連審査)	地域包括支援センター	226	226	220	220	224	228	229	224	1797
		居宅介護支援事業所(委託)	116	111	113	116	110	115	114	119	914
	〃 (市直接払い)	地域包括支援センター	115	119	118	118	112	112	116	115	925
		居宅介護支援事業所(委託)	1	1	1	1	1	1	1	1	8



訪問型サービス C

「すこやかお口訪問」の実施状況



その他の生活支援サービス

「お元気見守り食事サービス」の一例

一般介護予防事業

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の集いの場を充実させ人と人とのつながりを通じて、参加者や集いの場が継続的に拡大していくような地域作りを目指すとともに、要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指すことを目的としています。

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防教室等参加者数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	18,000	18,000	18,000
実績数値（人）	19,274	10,984	—

①介護予防事業対象者把握事業（地域の実情に応じて収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、介護予防活動へ繋がります）

事業名	目標	実績	事業内容							
チェックリスト活用把握事業	随時	69人	何らかの支援を要する者の把握方法として、地域の民生委員等と地域活動予防活動支援事業等の支援者からの情報収集を行い、基本チェックリストを実施（人）							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
			8	7	6	11	13	12	8	4
MCI対象者把握事業 「頭の健康チェック」	実施人数 50人	10人	認知症の前駆段階とされる軽度認知障害（MCI）のスクリーニングテストを実施 (チラシ)							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
			1	1	2	1	3	1	1	0

②介護予防普及啓発事業（介護予防活動の普及・啓発を行ないます）

事業名	実施目標	実績	会場	事業内容
健康教室・健康教育への講師派遣事業	随時	3,186人	各地域	壮健クラブやサロン活動、地域の高齢者の集いの場を対象として、介護予防事業講師を派遣し健康相談や健康教室を実施
認知症座談会	参加者数 100人	—	岩村コミュニティセンター	認知症になっても住み慣れた地域で元気に暮らすことを目的とした座談会を開催 開催日程 3月8日（日）13:00～15:15（予定）
脳の健康教室	受講者数 10人	実人数 11人	岩村保健センター	「読み書き」「計算」などの学習を、教室サポーターとコミュニケーションを取りながらの学習療法 (チラシ) 開催日程 7～11月 延べ167人

◎健康体操・転倒予防教室

事業名	実施目標	実績	会場	事業内容
「健康シニア応援塾」	受講者数 60人	実人数 ①26人 ②28人	アクトス	体操教室（12回コース×2教室） 1教室30人募集 (チラシ)
				開催日程 ①4～7月 岩村 延べ253人 ②7～9月 恵那 延べ219人
「プールウォーキング」	受講者数 175人	実人数 71人	山岡健康増進センター	プールを使用した教室（10回コース×7教室） 1教室25人募集
				開催日程 4～11月 延べ589人（*3月終了予定）
「筋トレを暮らしの中に」	受講者数 120人	実人数 47人	山岡健康増進センター	体操教室（6回コース×6教室） 1教室20人募集
				開催日程 4～11月 延べ200人（*3月終了予定）
「水中歩行運動教室」	受講者数 10人	実人数 7人	ファミリア	プールを使用した教室。前年度の特定健診結果にて「保健指導対象者」と判定された方が対象。 （12回コース×1教室）
				開催日程 6～8月 延べ77人

③地域介護予防活動支援事業（地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行います）

事業名	実績	事業内容
はつらつサポーター養成講座	修了者 26人	介護予防の基礎知識を学び、介護予防事業のお手伝いや、自ら地域で介護予防活動を行う方を養成(前期・後期) (チラシ)
		前期 6/6(木)～7/11(木) 15名 後期 10/16(水)～11/20(水) 10名
はつらつサポーター活動支援	参加者 ①36人 ②22人	住民運営の集いの場を充実させるため、新規の立ち上げに関わる相談等の支援。連絡会ではサポーター同士の情報交換を行なう
		①連絡会 5/21(火)19人・7/16(火)9人・11/19(火)8人・2/18(火)予定 ②実践発表会 9/24(火)サポーター22名 一般1名 視察8名
高齢者等ふれあい温泉施設利用助成事業	1,182人	高齢者等の閉じこもり防止を目的に、市内温泉施設の利用1回300円の助成券4枚と団体利用券を発行(実人数 957人)
健幸ポイント事業	応募件数 239件	エーナ健幸ポイント事業の基本ポイント事業(市指定事業)に地域支援事業を対象として高齢者の外出と事業参加を啓発(6～2月) 《ポイント対象事業》はつらつサポーター養成講座・筋トレを暮らしの中に・脳の健康教室・プールウォーキング・健康シニア応援塾・脳の健康チェック・認知症サポーター養成講座

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標(人)	40	40	40
実績数値(人)	32	26	—

④一般介護予防事業評価事業

(介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の検証を行なう一般介護予防事業の評価事業)

事業名	事業内容
プロセス評価 (事業計画立案・実施過程)	各種事業実施に向けての目標を設定し、実施状況と結果を分析
アウトプット評価 (事業の実施量)	介護予防事業の実施状況 (回数・参加率) により評価
アウトカム評価 (事業成果)	期待していた効果がでているかを確認 (健康体操教室の前後評価等)

⑤地域リハビリテーション活動支援事業

(地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所・介護・地域ケア会議、サービス担当者会議・住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を推進します)

事業名	実施目標	実績	事業内容
はつらつリーダー養成講座	10人	6人	地域同士の協力体制を目的として地域の集いの場を運営する介護予防サポーターリーダーを養成 11/12 (火) ~1/21 (火) *全10回講座



はつらつリーダー養成講座受講状況

〔2〕指定介護予防支援事業

要支援1・2と認定された方で、訪問看護・福祉用具貸与等の介護予防サービス利用がある予防給付対象者のケアマネジメントを行ないます。作成業務の一部を居宅介護支援事業所に委託します。

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
地域包括支援センター	23	21	22	24	25	22	23	22	182
居宅介護支援事業所 (委託)	259	261	265	274	271	263	272	267	2132
合計	282	282	287	298	296	285	295	289	2314

〔3〕 地域包括支援センター事業

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するために地域包括支援センターの運営事業を実施します。

事業名	実績	事業内容						
総合相談支援業務	1,762 件	地域から収集した情報（民生委員からの情報等）の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、必用に応じて基本チェックリストを活用し地域介護予防活動支援事業等又は各種制度へ繋ぐ						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		210	216	247	319	270	249	251
権利擁護業務	虐待通報 16 件	高齢者虐待や消費者被害などの相談に対し、介護保険事業所や専門機関と協力し、迅速に高齢者を権利侵害から守り、虐待問題の取組みを実施						
包括的・継続的マネジメント支援業務	参加人数 468 人	高齢者を支える支援体制を構築に向け、地域のケアマネジャー同士の連携と情報交換を促進する研修会を開催。また個別ケースの相談に応じる。 * 令和元年 12 月末現在						
		ケアマネ連絡会開催						
		日にち	タイトル	講師及び内容				人数
		4/17	年間計画などについて	年間計画・名簿・役員紹介				54 人
		5/15	恵那市における認知症施策	初期集中支援事業の周知				52 人
		6/19	事例検討とグループスーパービジョン	立木孝幸（県居宅支援事業協会） 末松みどり（郡上社会福祉協議会）				74 人
		8/21	ケアマネ意見交換会	第 8 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に向けた意見交換、次年度計画について				39 人
		9/18	事例検討とグループスーパービジョン	立木孝幸（県居宅支援事業協会） 末松みどり（郡上社会福祉協議会）				69 人
		10/9	精神疾患の理解とケア事例	白井潤一郎（のぞみの丘ホスピタル）				61 人
		11/13	障害者地域共生社会を踏まえて	白井潤一郎（のぞみの丘ホスピタル）				56 人
		12/11	事例検討とグループスーパービジョン	立木孝幸（県居宅支援事業協会） 末松みどり（郡上社会福祉協議会）				63 人
		1/15	医療と介護の連携、虐待について	地域包括支援センター				予定
		2/12	事例検討とグループスーパービジョンの振り返り	立木孝幸（県居宅支援事業協会） 末松みどり（郡上社会福祉協議会）				予定

〔4〕 包括的支援事業

在宅医療・介護連携の推進

在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進することを目的とし、在宅医療・介護連携推進事業を推進します。本事業は以下8項目について取り組みを進めています。

事業名	事業内容
①地域の医療・介護の資源の把握	「在宅医療ガイドブック」電子版の市ホームページ掲載を検討
②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	在宅医療・介護連携推進会議を定期開催し関係機関と協議 8/9（金） 令和元年度 事業内容について検討（情報提供書の検討方法など）
③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	提供体制構築に関する課題等について関係機関にアンケート調査を実施
④医療・介護関係者の情報共有の支援	関係事業所等の代表者にてチームを編成し、情報共有シート（情報提供書・介護連携カード）を作成。1月のケアマネ連絡会にて説明予定
⑤医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携相談窓口を地域包括支援センターと恵那歯科医師会に設置し地域包括支援センターにコーディネーターを配置 相談件数 92件
⑥医療・介護関係者の研修	恵那歯科医師会に委託し研修を開催予定 12/15（日）中津川恵那在宅医療介護専門職連携研修会 1/19（日） 歯科と介護の連携研修会
⑦地域住民への普及啓発	—
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	在宅医療・介護連携推進研究会（東濃圏域）への参加 6/20（木）上記研究会へ出席、1/14（火）出席予定

認知症施策の推進

2025（令和7年）年を目指し、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう「新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）」を推進します。

*令和元年12月末現在

事業名	実施目標	実績	事業内容
若年認知症の人と家族の支援	随時	1人	若年認知症患者と家族への相談を個別の訪問等で認知症地域支援推進員が実施。パンフレット等を活用し市民に対する若年性認知症についての知識の普及を実施
認知症サポーター活動支援（認知症ケア人材の育成）	実施回数 1回	開催回数 1回	認知症サポーター養成講座を修了者が事前会議を通して、学習をし、できる範囲で手助けを行うあんしん声掛け訓練を実施 開催地 明智町内 事前会議3回 延べ67人参加 声掛け68件 通報34件

事業名	実施目標	実績	事業内容		
ささゆりカフェ (認知症カフェ)	開催回数 8回	開催回数 6回	不安や悩み事の相談、介護情報を得るためのカフェの開催をスターバックスコーヒーの協力により「認知症地域支援推進員」が中心となり、関係機関と連携し開催 (チラシ)		
			4/24 (水) 中央図書館 23人	10/18 (金) コーブぎふ 25人	
			5/21 (火) 木ポイント 13人	11/27 (水) 茅の宿とみだ 22人	
			7/23 (木) 恵那病院 29人	1/22 (水) 木ポイント (予定)	
			9/11 (水) 中央図書館 24人	3/ (未定)	
認知症の方の家族のつどい	開催回数 4回	開催回数 3回 参加人数 32人	認知症の人を介護している家族を支える場として「認知症地域支援推進員」が中心となり開催 (チラシ)		
			6/27 (木) 岩村福祉センター	ヨガでちょっとリラクゼーション	7人
			8/22 (木) 恵那市役所会議棟	介護者のための歯のはなし	11人
			12/18 (水) 文化センター	お正月飾り作り	14人
			2/20 (木)	開催予定	—
多職種連携事業 (事例検討会)	開催回数 4回	開催回数 2回 参加人数 39人	ファシリテーターを中心に、多職種の関係機関と様々な視点から事例を読み解き解決方法を検討		
			8/7 (水) 岩村福祉センター 13人 11/5 (火) 岩村福祉センター 26人		
” (研修)	開催回数 2回	—	認知症の人本人と家族を多職種で支援する体制構築と強化を目的に、市内の医療・福祉関係者、民生委員等を対象とした研修会を開催 3月開催予定		
認知症初期集中支援チーム	随時	新規相談 6件 継続相談 4件	複数の専門家が家族の訴えなどにより、認知症が疑われる人や認知症の人及び家族を訪問し、アセスメント、家族支援などへ包括的・集中的支援を実施 (最長で6ヶ月)		
認知症ケアパスの活用	随時	配付数 80部	認知症の人の状態に合わせた適切なサービスの流れやケア内容を記載した冊子を相談時等に提示。家族のつどいやささゆりカフェで配付		



認知症の方の家族のつどい
「ヨガでちょっとリラクゼーション」



あんしん声掛け訓練

生活支援サービス体制整備

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、高齢者の社会参加及び生活支援の充実を目的に生活支援体制整備事業を推進します。

* 令和元年12月末現在

種類	開催目標	実績	実施内容
第1層 (市1ヶ所)	開催回数 2回	開催回数 2回	○情報共有と連携 第2層協議体の意見・課題をまとめ内容を共有し連携を図る ○啓発活動 支え合い活動に関する地区別情報を集約した冊子(「えーなみんなで助け合い」)を作成し、市民への啓発を実施 8/21(水)、12/10(火)
第2層 (地域13ヶ所)	各地域 2回以上	26回	令和元年度の各地域の目標に対する具体的な活動支援についての検討を継続実施 (計画・実行・評価・改善(PDCAサイクル)各地域で随時開催中)

地域ケア会議

事業名	開催目標	実績	事業内容
地域ケア個別会議	随時	24回	個別ケースの支援内容を検討する中で、個別の課題解決を行ない、検討を通して関係者間のネットワークを構築
地域自治区ケア推進会議 (地域13ヶ所)	開催回数 2~3回	14回	個別ケースの積み重ねから発見される地域課題と地域福祉懇談会等で抽出された地域課題の整理・解決策の検討を地域の代表者と実施 (※第2層協議体と同一会議とする)
市地域ケア推進会議	開催回数 1回	1回 (予定)	地域自治区ケア推進会議(第2層協議体)で検討された課題の共有と、政策的対応が必要となる課題等について市レベルで検討 開催予定 1/16(木)

[5] 任意事業

地域の実情に応じ、市独自の発想や創意工夫した形態で実施します。

事業名	実績	事業内容
成年後見制度利用支援事業	3件	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が成年後見制度の申立てにあたり、経済的な理由で申し立てができないことがないように申立に要する費用助成を実施 市長申立 1件 利用申請 2件
徘徊高齢者家族支援サービス事業	6人	認知症高齢者の見守り体制の1つとして、位置探索端末機の貸し出しを実施

事業名	実施目標	実績
介護相談員派遣事業	派遣延べ 2,724人	介護相談員を特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設に派遣し、サービス利用者の日常的な疑問、不安の解消を図るためサービス事業者との橋渡し役を実施
	①20人 ②予定	介護相談員 18名 派遣事業所 24カ所 ①6/18（火）介護相談員連絡会 ②1/10（金）開催予定 介護相談員・派遣先職員連絡会
おしゃべりパートナー派遣事業	派遣延べ 161人	独居・日中独居等にて地域社会との関わりが少ない高齢者の話し相手として回想法の手法を用いた訪問事業を実施 (チラシ) おしゃべりパートナー10人 利用者数 10人
家族介護者支援事業	1回 (予定)	高齢者を介護している介護者が、一時的に介護から解放されて心身のリフレッシュを図り、介護者同士の交流を深める交流会を年1回開催 2/21（金）開催予定
家族介護者教室	開催回数 3回 参加者 92人	地域の高齢者を介護している家族を対象に在宅介護を支援するため、基礎的な介護方法の知識を学ぶ介護者教室等を開催。 ①10/24（木）上矢作 24人 ②10/16（金）中野方 27人 ③11/27（水）串原 51人 *他8地区開催予定
介護用品の購入助成事業	延べ 36人	在宅で介護を必要とする高齢者の家族に対して、介護用品購入費用の一部を助成
認知症サポーター養成講座	123人	認知症に対する地域での理解と早期対応の知識普及のために、地域住民、職域、学校、広域の団体などで「認知症サポーター養成講座」を随時開催 (チラシ)
高齢者見守り活動支援事業	26事業所	高齢者の見守りに関する協定事業所との連携を図り、通報及び相談時には早期対応を実施し、年1回の事業所連絡会を開催予定 (資料) 今年度新規協定事業所：恵那市恵南商工会
緊急通報システム整備事業	200人	一人暮らしの高齢者が、自宅で急病や事故など救急の際、救急ボタンを押すことにより、消防署に直接通報できる機器を設置

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

認知症サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	6,200	6,700	7,200
実績数値（人）	5,822	5,945	—

2. 令和2年度活動方針

令和2年度は、恵那市では第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の3年目となります。高齢者が住み慣れた地域で生活を継続出来るように、地域包括ケアシステムの深化・推進に向け地域支援事業の充実を進めていきます。

地域支援事業の実施

〔1〕 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより地域の支え合い体制づくりを推進します。
(資料：令和2年度地域支援事業一覧)

介護予防・生活支援サービス事業

要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、介護予防訪問介護・通所介護のサービスに加え、住民主体の支援等も含め、多様なサービスを総合事業の対象とします。

(資料：介護予防・総合事業サービス一覧)

事業名	事業内容
訪問型サービス	要支援者又は基本チェックリスト該当者に対し、掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供
通所型サービス	要支援者又は基本チェックリスト該当者に対し、機能訓練や集いの場など日常生活上の支援を提供
その他の生活支援サービス	要支援者又は基本チェックリスト該当者に対し、栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守りを提供
介護予防ケアマネジメント	要支援者又は基本チェックリスト該当者等に対し、総合事業によるサービスを適切に提供するためのケアマネジメントを実施

一般介護予防事業

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の集いの場を充実させ人と人とのつながりを通じて、参加者や集いの場が継続的に拡大していくような地域作りを目指すとともに、要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指すことを目的としています。

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防教室等参加者数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	18,000	18,000	18,000

①介護予防事業対象者把握事業

(地域の実情に応じて収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、介護予防活動へ繋がります)

事業名	実施目標	事業内容
チェックリスト活用把握事業	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの支援を要する者の把握方法として、地域の民生委員等と地域活動予防活動支援事業等の支援者からの情報収集を行い、基本チェックリストを実施。 ・平成 27 年度から始まった総合事業の経過を確認していくため、全ての集いの場を中心とし基本チェックリストを 2 回 (6 ヶ月で評価) 行う
MCI 対象者把握事業	実施人数 50 人	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の前駆段階とされる軽度認知障害 (MCI) のスクリーニングテストを実施。該当者は脳の健康教室へ随時参加を可能とする。

②介護予防普及啓発事業 (介護予防活動の普及・啓発を行います)

事業名	実施目標	事業内容
健康教室・健康教育への講師派遣事業	参加者数 4,650 人	年 3 回、壮健クラブやサロン活動・地域の高齢者の集いの場を対象として、介護予防事業講師を派遣し健康相談や健康教室を実施
後期高齢者の保険事業と介護予防の一体化事業【新】(保険年金課との連携事業)	20 カ所	検診データを活用し地域の健康課題を抽出し、地域の集いの場等の後期高齢者を対象に看護師等による健康教室を実施
はつらつサポーター活動	参加者数 7,000 人	はつらつサポーター (介護予防サポーター) 養成講座修了者が地域で介護予防のための集いの場を定期開催
認知症啓発事業	参加者数 200 人	認知症になっても、ならなくても全ての人が住み慣れた地域で元気に暮らすことを目的とした啓発事業を行う
回想法普及・活用事業	参加者数 340 人	NPO 法人シルバー総合研究所に委託し回想法センターにて認知症カフェ、回想法体験を毎月開催
脳の健康教室	受講者数 10 人	週 1 回×5 ヶ月、「読み書き」「計算」などの学習を、教室サポーターとコミュニケーションを取りながら脳の活性化を図る学習療法の終了後にコグニサイズを毎回取り入れ、脳の活性化を図る

○健康体操

事業名	実施目標	会場	事業内容
健康シニア応援塾	受講者数 60人	アクトス	12回コース×2教室（1教室30人定員）
プールウォーキング	受講者数 175人	健康増進センター楽歩	プールを使用した教室を実施。前後の効果測定を行う 10回コース×7教室（1教室25人定員）
フレイル予防教室【新】 （健康推進課との連携事業）	受講者数 10人	健康増進センター楽歩	健康運動指導士が最短3ヶ月～最長11ヶ月までの個別メニューを作成。中間評価を実施。また、期間中に栄養・口腔教室受講を必須とする
男性のための筋トレ教室【新】	受講者数 10人	まきがね 体育館	男性限定のトレーニングマシンを使った筋トレ。 前後の効果測定を実施する。 週1回の12回コース×1教室



健康シニア応援塾

③地域介護予防活動支援事業（地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行います）

事業名	事業内容
はつらつサポーター養成講座	介護予防の基礎知識を学び、介護予防事業のお手伝いや、自ら地域で介護予防活動を行う方を養成（前期・後期 各20名養成）
はつらつサポーター活動支援	住民運営の集いの場を充実させるため、新規の立ち上げに関わる相談等の支援。サポーターの交流や健康体操の技術取得を目的に連絡会を年4回開催。また実践発表会を年1回開催。
高齢者等ふれあい温泉施設利用助成事業	・高齢者等の閉じこもり防止を目的に、市内温泉施設の利用1回300円の助成券4枚と団体利用券を発行

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	40	40	40

④一般介護予防事業評価事業

(介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の検証を行なう一般介護予防事業の評価事業)

事業名	事業内容
プロセス評価 (事業計画立案・実施過程)	各種事業実施に向けての目標を設定し、実施状況と結果を分析
アウトプット評価 (事業の実施量)	介護予防事業の実施状況(回数・参加率)により評価
アウトカム評価 (事業成果)	期待していた効果がでているかを確認(健康体操教室の前後評価等)

⑤地域リハビリテーション活動支援事業

(地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所・介護・地域ケア会議、サービス担当者会議・住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を推進します)

事業名	実施目標	事業内容
はつらつリーダー養成講座	参加者数 10人	岐阜県理学療法士会に委託し、地域の集いの場の立ち上げ支援や介護予防体操の指導を行うはつらつサポーターのリーダーを養成(シルバーリハビリ10回講座を開催) 【新】1・2期生の活動として連絡会1回と、はらつサポーターの集いの場でリハビリ体操を実施。自主的な組織「はつらつ会」へのフォローアップを実施

〔2〕指定介護予防支援事業

要支援1・2と認定された方で、訪問看護・福祉用具貸与等の介護予防サービス利用がある予防給付対象者のケアマネジメントを行ないます。ケアプラン作成業務の一部を居宅介護支援事業所に委託します。

〔3〕地域包括支援センター事業

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するために地域包括支援センターの運営事業を充実します。

事業名	事業内容
総合相談支援業務	地域から収集した情報(民生委員からの情報等)の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、必要に応じて基本チェックリストを活用し総合事業等の各種制度へ繋ぐ。

事業名	事業内容
権利擁護業務	<p>高齢者虐待や消費者被害などの相談に対し、介護保険事業所や専門機関と協力し、迅速に高齢者を権利侵害から守り、虐待問題や消費者被害の防止啓発に向けた取組み、関係機関とのネットワークを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度：令和3年の中核機関の設置に向け東濃圏域で検討を進める ・ 虐待支援：マニュアルの周知・活用、高齢者虐待ネットワークの充実 ・ 消費者被害：各地域の被害状況を把握し、パンフレット等で予防啓発
包括的・継続的 マネジメント支援業務	<p>生活上の課題を持った高齢者が、住み慣れた地域で生活を続けるために、介護サービス事業所、医療機関、社会福祉協議会、民生委員、地域関係者との多職種連携に努め、高齢者を支える支援体制を推進。地域のケアマネジャー支援としては、個別ケースの相談に応じるとともに研修や勉強会を開催する。</p>

〔4〕 包括的支援事業

在宅医療・介護連携の推進

在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進することを目的とし、在宅医療・介護連携推進事業を推進します。本事業は以下8項目について取組みを充実します。

事業名	事業内容
①地域の医療・介護の資源の把握	平成27年作成「在宅医療ガイドブック」の内容を更新し、ホームページに掲載
②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	在宅医療・介護連携推進会議を定期開催し年2回関係機関と協議
③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	提供体制についてのアンケート結果から課題を抽出し事業を実施
④医療・介護関係者の情報共有の支援	情報共有シート（情報提供書・介護連携カード）の普及啓発
⑤医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携相談窓口を地域包括支援センターと恵那歯科医師会に設置し、地域包括支援センターにコーディネーターを配置
⑥医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那歯科医師会に委託し、医療関係者と介護関係者による合同研修を実施 ・ 在宅医療・介護専門職連携研修会の開催
⑦地域住民への普及啓発	パンフレットを作成し普及啓発を行う
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	在宅医療・介護連携推進研究会（東濃圏域）への参加 近隣地域関係機関との定期的な情報交換・情報共有

認知症施策の推進

できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、令和元年6月に国から示された「認知症施策推進大綱」に沿って施策を推進します。その際、認知症の視点に立って、認知症の人やその家族の意見を踏まえて推進していきます。

事業名	実施目標	事業内容
若年性認知症の人と家族の支援	随時	若年性認知症患者と家族への相談を個別の訪問等で認知症地域支援推進員が実施
認知症サポーター活動支援	実施回数 1回	認知症サポーター養成講座の修了者が事前学習会を重ねて、お互いに繋がりあい、サポーターとしての自覚を持つ機会とさりげない手助けを行う活動として、あんしん声掛け訓練を実施
ささゆりカフェ (認知症カフェ)	開催回数 8回	不安や悩み事の相談、介護情報を得るためのカフェの開催をスターバックスコーヒーの協力により認知症地域支援推進員が中心となり、関係機関と連携し開催
認知症の方の家族のつどい	開催回数 4回	認知症の人を介護している家族を支える場として認知症地域支援推進員が中心となりつどいを開催
認知症多職種連携研修	開催回数 1回	認知症の人本人と家族を多職種で支援する体制構築と強化を目的に、市内の医療・福祉関係者、民生委員等が対象の研修
認知症初期集中支援チーム	随時	複数の専門家が家族の訴えなどにより、認知症が疑われる人や認知症の人及び家族を訪問し、アセスメント、家族支援などへ包括的・集中的支援を実施（最長で6ヶ月） ・チーム員医師による啓発講演会の開催（1回） ・定期的なチーム員会議開催 ・検討委員会の設置・開催
認知症ケアパスの活用	随時	認知症の人の状態に合わせた適切なサービスの流れやケア内容を記載した冊子を相談時等に提示

※認知症サポーター養成講座・MCI（軽度認知障害）チェックテスト・徘徊高齢者位置検索端末機の貸与・回想法事業については地域支援事業の別事業にて実施。



ささゆりカフェ 恵那病院



ささゆりカフェ 茅の宿

生活支援サービス体制整備

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、高齢者の社会参加及び生活支援の充実を目的に生活支援体制整備事業を推進します。

協議体種類	開催目標	実施内容	委員構成
第1層 (市1ヶ所)	開催回数 2回	<ul style="list-style-type: none"> ・家事支援の支えあいについての推進 支えあい活動交流会の開催 ・集いの場の充実に対する課題への具体策の検討 ・情報共有と連携 第2層協議体の意見・課題をまとめ内容を共有。互いの連携を充実 ・「えーなみんなで助け合い」冊子の啓発 	社会福祉法人・NPO 団体・社会福祉協議会・シルバー人材センター・生活協同組合・民生委員・介護予防サービス事業者・生活支援サービス団体・生活支援コーディネーター等
第2層 (地域13ヶ所)	開催回数 各地域 2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の各地域の目標に対する具体的な活動支援についての協議を継続 ・取組の実践を行う 	地域ケア推進会議と兼ねる

地域ケア会議

個別ケースの支援内容の検討による課題解決を出発点とし、ネットワーク構築・地域作り・資源開発など支援の土台を整備し地域包括ケアシステムを推進します。

事業名	開催目標	事業内容
地域ケア個別会議	開催回数 随時	<p>個別ケースの支援内容を検討する中で、個別の課題解決を行ない、検討を通して関係者間のネットワークを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーへの周知 ・モニタリング状況確認 ・福祉連携会議の活用【新】 貧困、障害など社会福祉課・子育て支援課の関係する事例
地域自治区ケア推進会議	開催回数 各地域 2回以上	個別ケースの積み重ねから発見される地域課題について、また地域福祉懇談会等で抽出された地域課題の課題に向け整理・解決策の検討を地域の代表者と実施（※第2層協議体とする）
市地域ケア推進会議	開催回数 1回	<p>地域自治区ケア推進会議（第2層協議体）で検討された課題の共有と、政策的対応が必要となる課題等について市レベルで検討</p> <p>市地域ケア推進会議は地域包括支援センター運営協議会の開催時に行う（1回/年）</p> <p>（※恵那市地域包括支援センター運営協議会設置要綱 第2条（4）「その他の地域包括ケアに関すること」にて目的・機能が合致するため）</p>

〔5〕任意事業

地域の実情に応じ、市独自の発想や創意工夫した形態で実施します。

事業名	事業内容
成年後見制度利用支援事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が成年後見制度の申立てにあたり、経済的な理由で申し立てができないことがないように申立に要する費用や後見人などへの報酬助成を実施
介護相談員派遣事業	介護相談員を特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設に派遣し、サービス利用者の日常的な疑問、不安の解消を図るためサービス事業者との橋渡し役を実施
徘徊高齢者家族支援サービス事業	認知症高齢者の見守り体制の1つとして、位置探索端末機の貸し出しを実施
おしゃべりパートナー派遣事業	独居・日中独居等にて地域社会との関わりが少ない高齢者の自宅を訪問し、話し相手として回想法の手法を用いた訪問事業を実施
家族介護者支援事業	高齢者を介護している介護者が、一時的に介護から解放されて心身のリフレッシュを図り、同士の交流を深める交流会を年1回開催
介護者教室	地域の高齢者を介護している家族を対象に在宅介護を支援するため、基礎的な介護方法の知識を学ぶ介護者教室等を開催
介護用品の購入助成事業	在宅で介護を必要とする高齢者の家族に対して、介護用品購入費用の一部を助成
認知症サポーター養成講座	認知症に対する地域での理解と早期対応の知識普及のために、地域住民、職域、学校、広域の団体などで「認知症サポーター養成講座」を随時開催し、認知症サポーターステップアップ研修を1回開催
高齢者見守り活動支援事業	高齢者の見守りに関する協定事業所との連携を図り、通報及び相談時には早期対応を実施。年1回の事業所連絡会を開催
緊急通報システム整備事業	一人暮らしの高齢者が、自宅で急病や事故など救急の際、救急ボタンを押すことにより、消防署に直接通報できる機器を設置

※その他、住宅改修理由書作成手数料・介護給付費適正化事業も任意事業として実施

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

認知症サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	6,200	6,700	7,200

3. 地域包括支援センター歳出予算状況（令和元年度）

（関係箇所抜粋）

介護保険事業特別会計

（単位：円）

区 分	予算額 (12月補正後)	決算見込額	備 考
1 介護予防・日常生活支援総合事業	145,560,000	144,013,120	
訪問型サービス	22,076,000	24,275,770	ヘルパー、訪問型サービスA・C
通所型サービス	93,793,000	92,422,437	デイサービス、通所型サービスA・B
その他生活支援サービス	2,002,000	1,005,985	配食サービス、高額介護予防サービス費相当
介護予防ケアマネジメント	12,035,000	11,361,257	職員給与、ケアプラン作成委託料 等
審査支払手数料	431,000	437,571	審査支払手数料、共同電算処理手数料 等
一般介護予防事業	15,223,000	14,510,100	
介護予防把握事業	141,000	157,664	MC I 検査
介護予防普及啓発事業	14,234,000	13,424,774	介護予防講師謝礼、介護予防教室委託料 等
地域介護予防活動支援事業	488,000	565,386	介護予防サポーター養成、ポイント事業
地域リハビリテーション活動支援	360,000	362,276	理学療法士会委託料
2 指定介護予防支援事業費	27,983,000	24,856,000	職員給与、ケアプラン作成員賃金、介護予防支援計画作成委託料 等
3 包括的支援事業及び任意事業	73,943,000	69,569,700	
地域包括支援センター運営事業	59,883,000	57,862,000	職員給与・ケアマネ研修 など
包括的支援事業（社会保障充実分）	2,080,000	1,661,000	
在宅医療・介護連携推進事業	629,000	593,550	在宅医療・介護連携研修委託料、在宅医療・介護専門職連携研修会負担金 等
生活支援体制整備事業	927,000	651,156	生活支援コーディネーター報酬 等
認知症初期集中支援推進事業	131,000	148,124	サポート医報酬、事務費 等
認知症地域支援・ケア向上事業	328,000	179,223	認知症多職種連携事業、家族のつどい、ささゆりカフェ等
地域ケア会議推進事業	65,000	88,947	燃料費、郵便料 等
任意事業	11,980,000	10,046,700	
介護給付費等適正化事業	845,000	844,750	適正化システム保守委託
家族介護者支援事業	2,500,000	1,453,029	徘徊高齢者位置検索、家族介護者交流会、介護用品支給事業 等
成年後見制度利用支援事業	227,000	82,351	郵便料、鑑定料 等
福祉用具・住宅改修支援事業	10,000	2,000	住宅改修理由書作成手数料
認知症サポーター等養成講座	180,000	2,440	養成講座教材費 等
地域自立生活支援事業	8,218,000	7,662,130	介護相談員派遣、おしゃべりパートナー派遣、緊急通報装置
合 計	247,486,000	238,438,820	

4. 介護予防サービスプラン作成業務委託先一覧表

R元年12月末現在

1	社会福祉法人敬愛会 居宅介護支援事業所シクラメン	中津川市阿木2811番地1
2	恵那市社協ケアプランセンター	恵那市大井町727番地11
3	恵那市社協ケアプラン岩村・上矢作	恵那市岩村町1605番地11
4	恵那市社協ケアプラン明智・山岡	恵那市山岡町1207番地1
5	社会福祉法人恵和会 ケアプランセンター明日香苑	恵那市三郷町佐々良木1470番地1
6	有限会社めぐみ介護サービス 恵那ケアプランセンターめぐみ ※1	恵那市長島町中野1205番地72
7	有限会社めぐみ介護サービス 中野方めぐみケアプランセンター	恵那市中野方町川向1768番地1
8	有限会社 耕グループ くわのみ福祉よろず相談所	恵那市岩村町飯羽間1616番地
9	有限会社トータルケア ケアマネあじさい	恵那市明智町1110番地5
10	合同会社ナルセア 恵那ケアプランやまゆり	恵那市山岡町原1428-1
11	特定非営利活動法人まちづくり山岡 まちづくり居宅介護支援事業所	恵那市山岡町上手向599番地1
12	カネ九商事株式会社 Kanekuケアプランセンター恵那	恵那市大井町1202番地4
13	合同会社おひさま 未来設計おひさま	中津川市中一色町3番地14号
14	有限会社中部GPF 中部ケアプランセンター	恵那市長島町中野1216番地8
15	一般社団法人ふれあい処和 介護まちなか相談所	恵那市岩村町262番地1
16	株式会社経友会 「結い」介護相談室	恵那市武並町藤1929番地1
17	株式会社シエント ケアプランシエント	恵那市大井町2220番地1
18	有限会社アームズ 居宅介護支援事業所ほっと	中津川市蛭川5735-227
19	合同会社おひさま 3rd life ※2	中津川市中一色町3番14号
20	医療法人恵雄会 居宅介護支援事業所ハートケアプランセンター	恵那市大井町1064番地1
21	コープあいち福祉サービス本山	名古屋市千種区稲舟通1丁目39番地
22	有限会社めぐみ介護サービス 笠置めぐみケアプランセンター	恵那市笠置町姫栗1549番地1
23	株式会社フロンティアの介護 まつさかの憩	多治見市松阪町1丁目13-1
24	株式会社エムアンドジー ケアプランセンターもみじ	恵那市武並町竹折625番地1
25	合同会社えなぼん えなぼん社会福祉士事務所	恵那市長島町中野1205-327
26	株式会社レンゲグループ ケアプランセンターれんげ	本巢市下真桑670-1
27	合同会社LIFTE ケアプランSORA	恵那市長島町正家437番地
28	社会福祉法人恵北福祉会 居宅介護支援事業所 福寿苑	恵那市上矢作町下723番地1
29	社会福祉法人恵雄会 こころケアプランセンター	恵那市岩村町2453番地5
30	有限会社菜のはな 菜のはなケアセンター	土岐市泉町久尻29番地4

※1 恵那ケアプランセンターめぐみ 令和元年11月より名称変更

※2 3rd life 令和元年9月より名称変更